

# 神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第113号

平成30年2月16日発行  
事務局：県立青少年センター  
科学部 科学支援課  
電話：045-263-4470

## 壮大なスーパー・ブルー・ブラッド



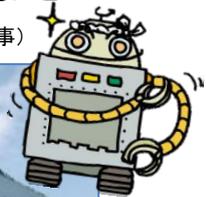
ご覧になりました？1月31日の皆既月食。月が地球に最接近して大きく見える月が「スーパームーン」。1カ月で2回目の満月が「ブルームーン」。さらに皆既月食で表面が血のように赤っぽく見える月が「ブラッドムーン」。これらの現象が今回は同時に見られました。この条件は35年ぶり、次回は19年後だそうです。宇宙規模の現象は、子どもにとっても大人にとっても壮大で神秘的です。(左の写真は、1月31日事務局撮影、裏面にも関連記事)

\*\*\*\*\*

### 子どもサイエンスフェスティバル海老名大会

2月3日(土)に、海老名市にあるえびな市民活動センター ビナレッジ交流館で、今年度3地域目の「子どもサイエンスフェスティバル」が開催されました。天候にも恵まれ、5年前に完成したばかりのビナレッジに、778人(子ども453人、大人325人)の方々が来場し、イベントを楽しみました。

(スポーツ施設のピナスポも隣接しているビナレッジ交流館→)



<p><b>1 箱根火山の立体模型を作ろう</b> 神奈川県温泉地学研究所</p> <p>お弁当パックのふたを使って、箱根火山の等高線をなぞります。標高ごとの等高線を描いたふたを重ねると、箱根火山の立体模型の出来上がり！</p>	<p><b>2 磁気の話とクリップモーター工作</b> NPO 法人 科学探検隊</p> <p>モーターが回転する原理を、磁気に関する実験を交えてまず説明しました。その後、原理を理解したうえで実際にクリップモーターを作りました。</p>	<p><b>3 宇宙に荷物を届けよう</b> 実験だいすき教室</p> <p>国際宇宙ステーション(ISS)で使う実験器具や生活物資をロケットで打ち上げ、ISSに引き渡すシミュレーションを模型で行いました。</p>
		
<p><b>4 くるくるレインボー</b> 科学あそび隊</p> <p>細いカラープラスチックテープをかご状に組み立て竹ひごに接着します。竹ひごを中心にデンデン太鼓のようにクルクル回すと、色々な形に変化。</p>	<p><b>5 アルソミトラの種子の模型</b> かながわサイエンスキッズサポート</p> <p>グライダーや飛行機の発明ヒントになったアルソミトラという熱帯植物の飛ぶ種子の模型を発泡スチロールを主材料として作り、飛ばしました。</p>	<p><b>6 サイエンス・ワンダーランド</b> 神奈川県立総合教育センター</p> <p>スズメバチの頭部を顕微鏡で拡大してみると…その強力そうな顎にびっくり。他にも折り紙で飛ぶ種を作ったり、大気と力比べをしたりしました。</p>
		

## 来場者アンケートから

今回は保護者の方からのご意見・感想です。

- 初めて来ましたが、普段できないことができて、子供にとっていい経験だったと思います。
- ただ作業するだけのブースがあったので、もう少し説明をしてほしい。
- またぜひやってください。大人も楽しかったです。ありがとうございました！
- 体験したものはすべて楽しかったです。残念ながら人が多くてあまり多く体験できなかったです。親から見ても興味深いものがたくさんありました。ミジンコを見た時はこんなに小さくても生きているんだと感動しました。

- すごく楽しかった。子供がとても喜んでいて、朝10～14時まで「帰らない！」とっていました。子供のためにありがとうございました。
- 色々な体験ができてよかった、すごく並んでいるところができなかったのもっと数を増やしてほしいです。
- このようなイベントがたくさん開かれたら子供たちも科学に興味を持てると思います。
- やりたいものが整理券切れでできず、残念だった。もっとできる人数を増やしてほしい。
- また来たいです。小さい子でも楽しめました。

<p><b>7 レインボースコープをつくらう</b> ほんままさこ</p> <p>トイレットペーパーの芯を本体として、分光シートを取り付けて望遠鏡のように作ります。小さな穴から中をのぞくと光が七色に分かれて見えます。</p>	<p><b>8 かるたでバトル！宇宙のいきもの</b> 生命の起源かるた制作チーム</p> <p>地球の歴史や宇宙に関する内容のカルタをしながら、宇宙と生き物の謎を探りました。カルタをすばやく取る反射神経も養われました。</p>	<p><b>9 水をつかもう</b> 神奈川県環境学習リーダー会</p> <p>アルギン酸ナトリウム液を乳酸カルシウム液に入れると、ゲル化反応が起きます。この反応を利用して、水をつかむ感覚を体験しました。</p>
		
<p><b>10 フラーレンボールをつくらう</b> 三浦学苑高等学校 科学部</p> <p>星のような形に置いた何本かのPPバンドを編むように重ねていくと、やがてボール状になり、フラーレンと言われる分子構造の出来上がりです。</p>	<p><b>11 地層から鉱物を取り出そう！</b> 県立向の岡高校 地球惑星科学部</p> <p>鉱物（宝石の仲間）を含んだ地層を水で洗い流し、きれいな鉱物を取り出します。顕微鏡で確認し、探し出した鉱物を持ち帰りました。</p>	<p><b>12 使い捨てカイロを作ろう！</b> WDB エウレカ株式会社</p> <p>冬の必需品の使い捨てカイロの成分と発熱原理を勉強しながら、実際に成分となる材料を混ぜ合わせて、自分だけの手作りカイロを製作しました。</p>
		

## 事務局から

1月31日の皆既月食の時間帯は、予報に反して雲の切れ間が広がり、壮大な天体ショーが観察できました。だんだん地球の影が満月に映り、月が欠けていくように見え始めたかと思えば、次にはだんだん赤みがかっていき、赤銅色の満月となりました。

同じうさぎ(?)でも、違ったメッセージを発信しているように感じます。寒さも忘れて見入ってしまいました。

次の連続写真は、事務局で撮影したものです。

(事務局：村上、高相、山田、宮城)



21:07



21:29



21:40



21:50



22:10



22:30